

---

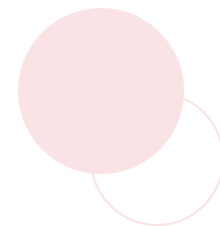
## 社会福祉基礎 2校時

---

「ともに生きる」とは？



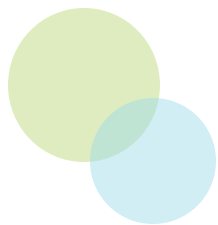
# ともに生きるために必要なこと



無関心をやめて、コミュニケーションをとろう



「一緒にできる方法」を考え、工夫しよう



## ともに生きるために必要なこと

無関心をやめて、コミュニケーションをとろう

勝手な思い込みや判断をしないで、まずはどんな助けを必要としているのか、よく聞いてみましょう。障がいのある人だからといって、常に協力が必要というわけではありません。

Point



**「何か困っていますか？」**

**「私にできることはありますか？」**

協力が必要なのか、何をしたら良いのか、ご本人に聞くようにしましょう。

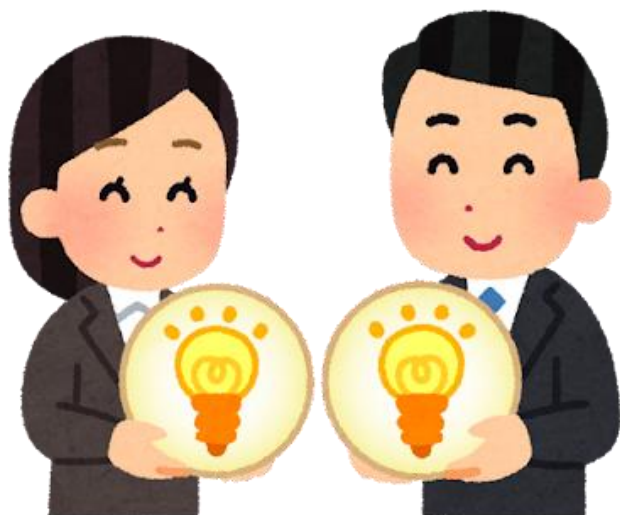


## ともに生きるために必要なこと

「一緒にできる方法」を考え、工夫しよう

できない理由を決めつけず、柔軟に考えていくようにしましょう。これまでの「当たり前」にとらわれず、何を工夫したら、一緒にできるのだろうと考えていくことが必要です。

Point



**「一緒に考えたいです」**

**「より良い方法を見つけましょう」**

一人ひとりが考えることも大切ですが、一緒に考えることが大切です。

---

## 社会福祉基礎 2校時

---

このあとの授業でやること



障がいのアナとの授業は、3日間

藤沢市内の「障がい福祉」を取材して、記事を書こう！

【2回目】

## インタビュー

- ・取材したい対象を決める
- ・質問を考え、インタビュー！

【3回目】

## 記事完成

- ・各グループで記事を書く
- ・ウェブサイトに掲載！

今年の先輩たちは・・・

【2回目】  
インタビュー

2人からプチ講義



理学療法士

手話通訳士





今年の先輩たちは・・・

【3回目】  
記事完成

授業の様子







夏休み前までに・・・

誰にインタビューをするか

---

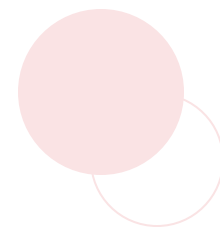
## 社会福祉基礎 2校時

---

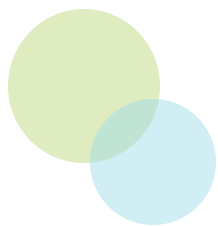
「Ana Letter」が大切にしていること



インタビューとは



人生の一部を分けてもらう



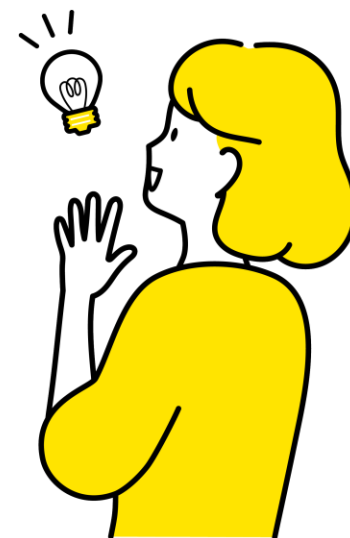
Ana Letter のライターが担っていること

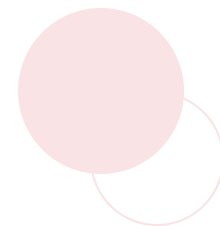
## 「伝える」という福祉の実現

「録音機」 消えてしまうものを残す

「拡張器」 声なき声を掬う

「翻訳機」 伝わる言葉にする



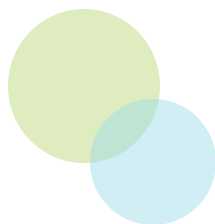


## 柔らかく、伝える

相手の価値観を否定しない、正解と不正解をつくらない

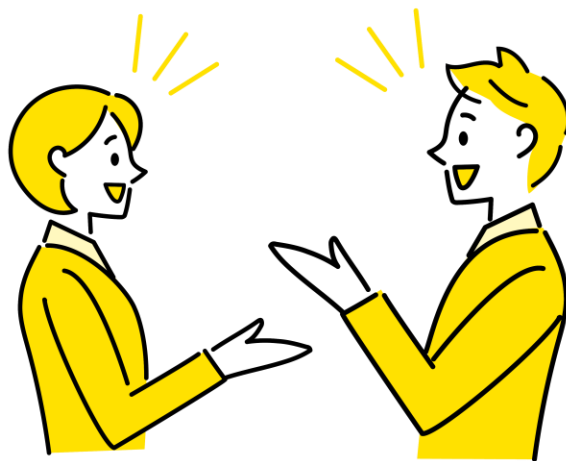
## 読み手に、考える余白を

主張や意見ではなく、考えるきっかけを届ける



# 心に届く表現とは？

相手の価値観や経験を想像して、  
いかに、受け止められる表現に変えられるか



共感 = 受け入れられる幅が広がる

# Ana Letter

はじめて知った！

私も同じ気持ちになることある！

これなら、できるかも！

私の感じ方もアリなんだ！



あえて、表現を柔らかくする





授業、おつかれさまでした！

感想用紙に授業の振り返りを書いてください！

